タ駅午後9時44分発、越谷貨物タ駅午前6時6分着でコンテナ10個分のコンテナ輸送力を確保する。

利用の多い地域間では、東京貨物タ駅午後10時59分発、大阪貨物タ駅（大阪府摂津市）午前8時4分着の列車にコンテナ10個を増強。越谷貨物タ駅－札幌貨物タ駅（札幌市白石区）の越谷貨物タ駅午前0時20分発、函館貨物駅（北海道函館市）午後4時27分着にコンテナ5個分を確保する。

名古屋貨物タ駅（名古屋市中川区）－八戸貨物駅（青森県八戸市）には、新鶴見信号場（川崎市幸区）－倉賀野駅（群馬県高崎市）で継走し、名古屋貨物タ駅午後8時26分発、熊谷貨物タ駅（埼玉県熊谷市）午前6時29分着の直通輸送ルートでコンテナ10個分を確保する。

また、設備投資に110億円掛け、機関車18両とコンテナ4千個、トップリフターとフォークリフトなどの荷役機械50台の輸送機材を新製する。

（佐々木健）

前年並みで推移

輸送動向 11月 半導体不足が緩和

日本貨物鉄道（JR貨物）が14日に発表した11月の輸送動向は、半導体不足などの緩和傾向を受けて自動車で、コンテナは10・6％減、車扱が11・5％減、合計で10・9％減になっているとした上で、「依然としてコロナ禍前から10％程度落ち込んで戻らず、厳しい状況が続いている。一方で各地のレールゲート整備により総合物流に向けたインフラ構築が進んだ。23年は荷物増加を目指したい」と述べた。

コンテナ貨物の品目別輸送動向は、海外からの部品調達が進んだことから、自動車部品が15・7％増の6万1千トン、家電・情報機器なった。コンテナは前年同月比0・7％減の165万3千トン、車扱が0・1％減の68万7千トン、合計で0・

住むーぶ全国協/住宅セーフティネット

支援法人申請を促す

高齢者の住環境改善

ブロック会議で住宅セーフティネット制度を周知（東日本ブロック、11月24日）

住むーぶ全国協議会（宮高豪会長）は、高齢者、障がい者といった住宅確保要配慮者に向けた支援政策の住宅セーフティネット制度に関する勉強会を積極的に開き、居住支援法人の認定取得を促進するなど、住宅確保要配慮者の住まいの確保や、円滑な入居・居住のために必要な支援に努めている。

同協議会ではこれまで、要介護者や高齢者の住環境改善のための引っ越し、片付けといったサービスを提供できる運送事業者の団体として、安心して生活できる住環境の提供に努めてきた。

2023年5月の総会で、住宅セーフティネット制度の説明会の実施を計画。22年11月から12月にかけて東、中、西日本の各ブロック会議でそれぞれ同制度について周知を図るとともに、高齢者の住環境改善に向けた活動を広く地域に知ってもらうため、会員各社に各都道府県で居住支援法人の申請を促した。

宮高会長は「（代表を務める）くらすむーぶ（大阪市住之江区）でも早速、申請を行った。今後も高齢者の住環境改善に役立つ活動に積極的に取り組んでいく」と話している。

（小菓史和）

白石区）の11本。関東発九州着は東京貨物タ駅（東京都品川区）－福岡貨物タ駅（福岡市東区）と東京貨物タ駅－鹿児島貨物タ駅（鹿児島市）の18本。その他の下り区間で103本になる。

北海道発関東着では札幌貨物タ駅－隅田川駅の11本。九州発関東着は福岡貨物タ駅－東京貨物タ駅、熊本駅（熊本市西区）－東京貨物タ駅、北九州貨物タ駅（北九州市門司区）－東京貨物タ駅の16本。その他の

（佐々木健）

局長に吉永氏

九運局

国土交通省は19日、九州運輸局長を13日付で辞職した鈴木史朗氏の後任に吉永隆博・前海上保安庁交通部長を充てる人事を発表した。

吉永新局長

次長の局長事務代理を同日付で解く。

吉永氏は1991年東大法卒、運輸省（現国土交通省）入省。2017年自動車局安全政策課長、18年鉄道建設・運輸施設整備支援機構審議役、19年海事局総務課長などを歴任。茨城県出身、55歳。

（高松美希）

人事異動

九州運輸局

〈12月20日〉局長、吉永隆博▽局長事務代理を解く、次長重富徹

会社人事

ヤマト運輸（東京都中央区）

〈2023年1月1日〉執行役員、岡本道明

日本通運（東京都千代田区）

〈2023年1月1日〉関東甲信越ブロックフォワーディングビジネスユニット部長、丹内忠由

アート梱包運輸（長野県東御市）

〈12月15日〉取締役、物

（面担　安藤泉）

物流ニッポン　2022年12月27日　総合4